

長野県

銘柄設定等申請のあった農産物の種類及び品種名について

「産地品種銘柄の設定」

* 水稻うるちもみ及び水稻うるち玄米

品種名 きんのめぐみ(選択銘柄)

特性等 長野県においては、早生から中生の早に属するうるち種である。
出穂期および成熟期は、「あきたこまち」より1～5日程度遅い。
「あきたこまち」と比べ、稈長は並かやや長く、穂長は長く、穂数は少ない。
収量性は「あきたこまち」と同等かやや多収である。
千粒重は「あきたこまち」と比べ、大きく、大粒である。
耐倒伏性は強く、いもち病ほ場抵抗性、白葉枯病ほ場抵抗性ともに”強”で、
障害型耐冷性も”強”である。
食味は「あきたこまち」並であり、精米時に胚盤が残りやすい特性を持つ。

品種鑑定上の特徴

「コシヒカリ」と比較し大粒で、粒幅は同等、粒長がやや長く、
粒厚が厚く、粒の背側が直線的である。
気象条件により、乳白・心白・腹白などの未熟粒の発生がやや多い。

品種名 みずほの輝き(選択銘柄)

特性等 晩生種であり「コシヒカリ」より約1週間遅れの出穂となる。
主力品種の「コシヒカリ」より晩生のため、作業時期の分散に繋がる。
収量は「コシヒカリ」と同程度。穂長は短いので倒伏少ない。
「コシヒカリ」より千粒重が重い→粒が大きい。
食味は良好である。

品種鑑定上の特徴

粒形は「コシヒカリ」並の”中”で、粒大は「あきたこまち」より大である。
粒厚は「コシヒカリ」より厚い。
「あきたこまち」と比較し、腹白の発生はやや少なく、心白・乳白の発生は
やや多く、光沢・色沢は同等である。

* 普通小麦

品種名 ゆめちから(選択銘柄)

特性等 蛋白質(グルテン)含有量が多く強い超強力小麦のパン用秋播小麦で、
コムギ縞萎縮病、赤さび病の抵抗性に優れ、赤かび病の抵抗性もやや
優れる。
「シラネコムギ」などの中力小麦粉とブレンドすることにより、「ユメアサヒ」
以上の優れた製パン適性があり、パスタ、中華麺としての適性にも優れる。
栽培適地は、長野県下の700m以上の高冷な畑作地帯に栽培できる。
播種期は9月下旬から10月中旬で、冬期前に十分な生育を確保する。
出穂期は5月25日から6月5日、登熟期は7月15～25日で、標高700m程の
麻績地区で同じく栽培した「ユメセイキ」より10日遅い。

レタス栽培後のほ場では耕土が深く収量を確保できるが、礫状土では登熟が早く収量減が大きい。

品種鑑定上の特徴

粒形はやや細長く角張り、灰褐色からやや茶褐色でやや退色した濃い粒色。粒色は「ユメアサヒ」に似るが、粉状質粒が少ない。

注) ・産地品種銘柄とは、

一定の産地(都道府県単位)で生産された品種が、他の産地で生産された同一品種との間で一定の品質差を示すことから、農産物の取引等において当該産地及び品種を特定する必要があるもの。

・必須銘柄とは、

当該産地において作付けされている産地品種銘柄で、概ね産地の全域で検査実績があり、登録検査機関が銘柄判定検査の実施義務を負う銘柄。

・選択銘柄とは、

当該産地において作付けされている産地品種銘柄で、登録検査機関が規定する業務規程に記載(選択)することにより、銘柄判定検査の実施義務を負う銘柄。